

# 広島県経済の動向

令和8年4月15日

商工労働局

## 目 次

|   |                    |   |
|---|--------------------|---|
| 1 | 経済動向の概要            | 1 |
|   | （1）国内経済の動向         |   |
|   | （2）広島県経済の動向        |   |
| 2 | 県内主要製造業の生産動向       | 3 |
|   | （1）鉄鋼              |   |
|   | （2）自動車             |   |
|   | （3）造船              |   |
|   | （4）一般機械            |   |
|   | （5）電気機械            |   |
| 3 | 中小企業の動向            | 5 |
|   | （1）概況              |   |
|   | （2）景況感・景況感の変化      |   |
|   | （3）前月から変化のあった主な業種  |   |
| 4 | 企業倒産状況             | 7 |
|   | （1）概況              |   |
|   | （2）業種別             |   |
|   | （3）原因別             |   |
|   | （4）今後の見通し          |   |
| 5 | 最近の雇用失業情勢          | 8 |
|   | （1）県内の有効求人・求職の動向   |   |
|   | （2）県内の新規求人・求職の動向   |   |
|   | （3）県内の人員整理の状況      |   |
|   | （4）完全失業率の状況（全国・県内） |   |

（注）「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

# 1 経済動向の概要

## (1) 国内経済の動向

### ア 概要

| 指 標   | 令和8年   |                                 |                                   |
|-------|--|---------------------------------|-----------------------------------|
|       | 1月   | 2月                              | 3月                                |
| 基調判断  | 景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している | 景気は、米国の通商政策の影響が残るものの、緩やかに回復している | 景気は、穏やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある |
| 輸 出   | おおむね横ばいとなっている                                |                                 |                                   |
| 生 産   | 横ばいとなっている                                    |                                 |                                   |
| 設備投資  | 緩やかに持ち直している                                  |                                 |                                   |
| 雇用情勢  | 改善の動きがみられる                                   |                                 |                                   |
| 個人消費  | 持ち直しの動きがみられる                                 |                                 |                                   |
| 住宅建設  | 弱含んでいる                                       |                                 |                                   |
| 消費者物価 | 上昇している                                       | このところ上昇テンポが緩やかになっている            | このところ緩やかに上昇している                   |
| 企業収益  | 米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられる中で、改善に足踏みがみられる     | 米国の通商政策の影響が残るものの、改善の動きがみられる     |                                   |

### イ 先行き

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和8年3月27日公表）】

## (2) 広島県経済の動向

### ア 概要

| 指 標                       | 令和8年           |    |                     |
|---------------------------|----------------|----|---------------------|
|                           | 1月             | 2月 | 3月                  |
| 基調判断                      | 緩やかな回復基調にある    |    |                     |
| 輸 出                       | 持ち直しの動きがみられている |    | 緩やかに持ち直している         |
| 生 産                       | 緩やかに持ち直している    |    |                     |
| 設備投資                      | 増加している         |    |                     |
| 雇用・<br>所得                 | 緩やかに改善している     |    |                     |
| 個人消費                      | 緩やかな回復基調にある    |    |                     |
| 住宅投資                      | 下げ止まっている       |    |                     |
| 消費者物価<br>(除く生鮮食<br>品、広島市) | 前年を上回っている      |    | 1%台後半のプラスと<br>なっている |

### イ 県内の経済の先行き

先行きについては、今後の中東情勢の展開や原油価格の動向などが、企業の生産や賃金・価格設定行動、個人消費の動向など、県内の金融経済情勢に与える影響を注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」(令和8年4月1日公表)】

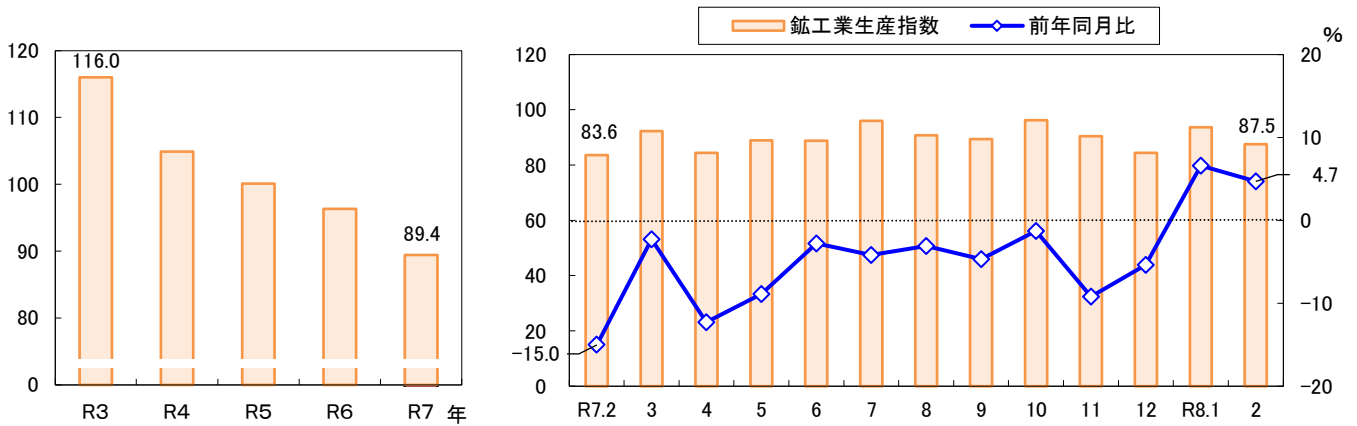
## 2 県内主要製造業の生産動向

### (1) 鉄鋼（令和8年2月）

2月の鉱工業生産指数（鉄鋼業、原指数、速報値、令和2年=100）は87.5で、前年同月比で4.7%増加となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

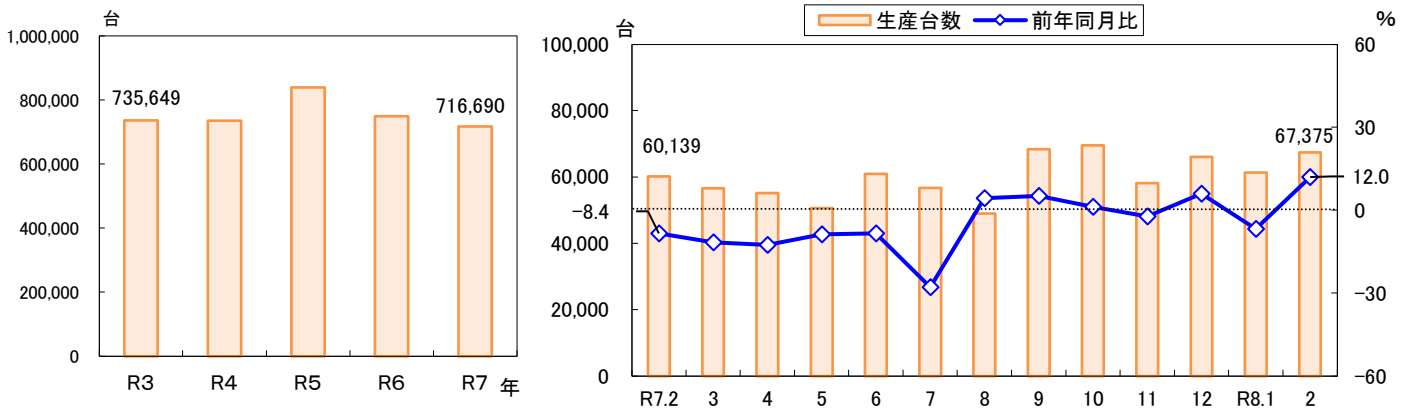


### (2) 自動車（令和8年2月）

2月の国内生産台数は67,375台で、前年同月比で12.0%増加となっている。

自動車生産台数(年別、月別・前年同月比)

【マツダ(株)】

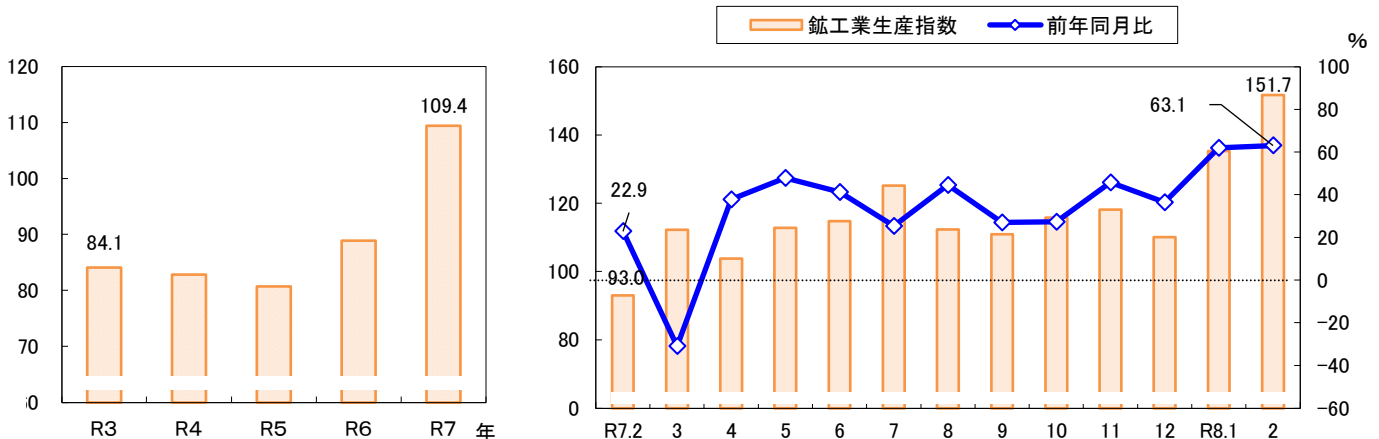


### (3) 造船（令和8年2月）

2月の鉱工業生産指数（造船部門、原指数、速報値、令和2年=100）は151.7で、前年同月比で63.1%増加となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

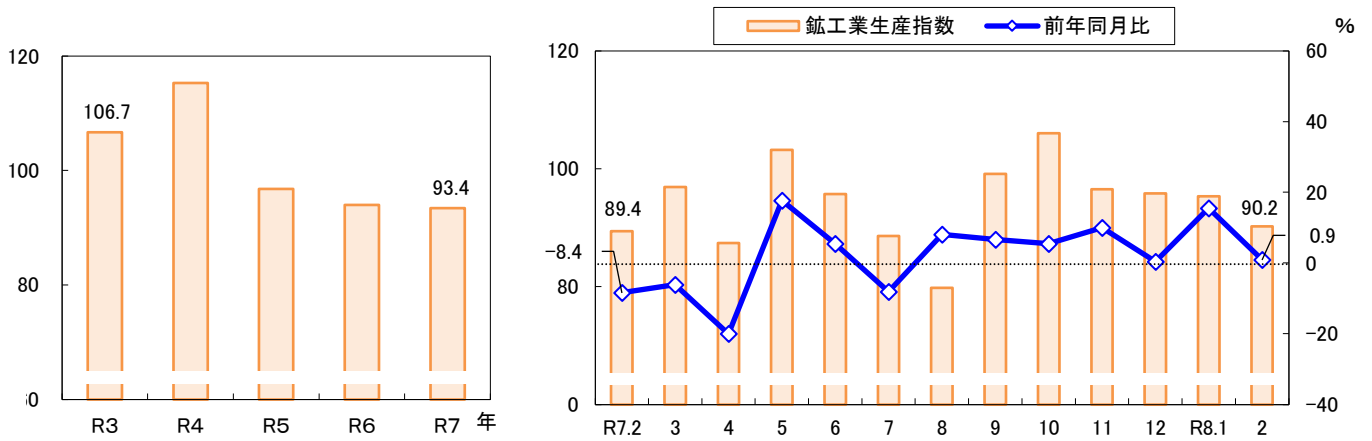


(4) 一般機械 (令和8年2月)

2月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)、原指数、速報値、令和2年=100)は90.2で、前年同月比で0.9%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械工業(総合))(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

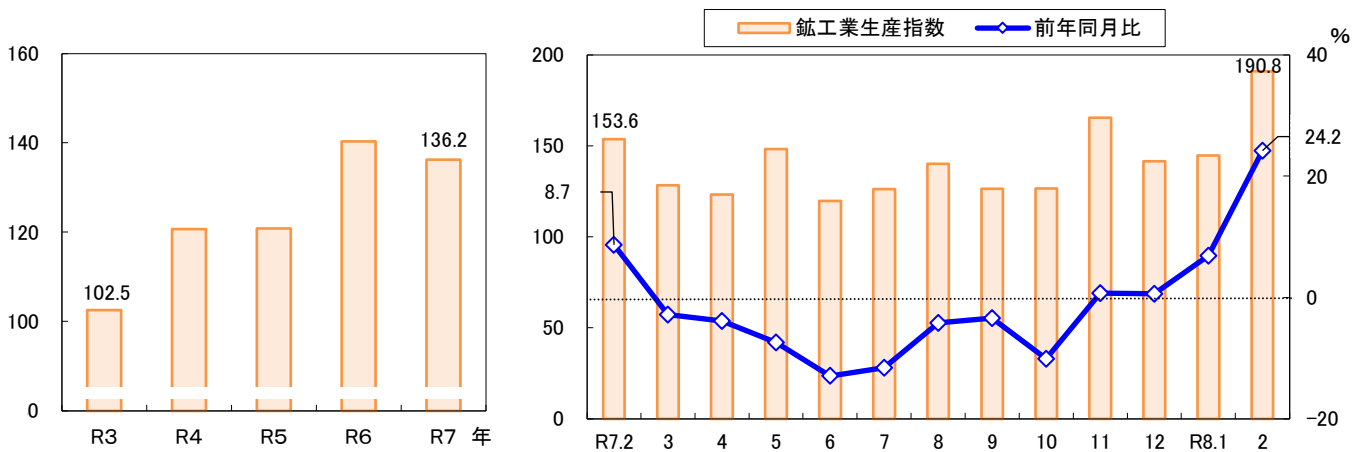


(5) 電気機械 (令和8年2月)

2月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)、原指数、速報値、令和2年=100)は190.8で、前年同月比で24.2%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】



### 3 中小企業の動向（令和8年2月）

【広島県中小企業団体中央会（令和8年3月23日時点）】

#### （1）概況

県内の多くの中小企業では、原材料費や光熱費の上昇に加え、人件費の増加などによる経営コストの高騰により収益が圧迫され、厳しい状況が続いている。さらに、金利上昇により資金繰りの悪化も懸念されるなど、経営環境の不安定さが増している。こうした状況の中、中東情勢の悪化など国際情勢の変化も重なり、先行きは依然として不透明な状況にある。

自動車関連業種では、2月の国内自動車販売台数は前年同月比▲3.5%と2か月連続して減少。マツダ車は前年同月比▲18.8%となった。また、木材業界では、2月の全国新設住宅着工戸数は57,630戸で前年同月比▲4.9%。県内の2月の着工戸数は1,251戸で、前年同月比+22.6%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「2月の生産・販売状況について」に基づく

※木材業界に関する記載は、国土交通省が公表する「建築着工統計調査報告」及び広島県がホームページに掲載する「新設住宅着工戸数」の2月分のデータに基づく

#### （2）景況感・景況感の変化

| 業種       | 1月の景況感 | 2月の景況感 |
|----------|--------|--------|
| 食料品      | 普通     | 普通     |
| 繊維・衣服    | やや好況   | やや好況   |
| 木材       | やや悪い   | やや悪い   |
| 家具       | やや悪い   | やや悪い   |
| 印刷       | やや悪い   | やや好況   |
| 化学       | やや悪い   | やや悪い   |
| プラスチック製品 | 普通     | 普通     |
| 土石製品     | やや悪い   | 悪い     |
| 鉄鋼（铸件）   | やや悪い   | やや悪い   |
| 金属製品     | やや悪い   | やや悪い   |

| 業種     | 1月の景況感 | 2月の景況感 |
|--------|--------|--------|
| 一般機械器具 | やや悪い   | 普通     |
| 電気機械器具 | 普通     | やや悪い   |
| 自動車部品  | 普通     | 普通     |
| 造船     | 普通     | 普通     |
| 建設     | やや悪い   | 普通     |
| トラック輸送 | やや悪い   | 普通     |
| 内航海運   | やや悪い   | やや悪い   |
| 卸売     | やや悪い   | やや悪い   |
| 小売     | 普通     | 普通     |
| 情報サービス | 普通     | 普通     |

（単位：業種）

| 景況感  | 1月 | 2月 | 増減数 |
|------|----|----|-----|
| 好況   | 0  | 0  | 0   |
| やや好況 | 1  | 2  | 1   |
| 普通   | 7  | 9  | 2   |
| やや悪い | 12 | 8  | ▲4  |
| 悪い   | 0  | 1  | 1   |

(3) 前月（1月）から変化のあった主な業種

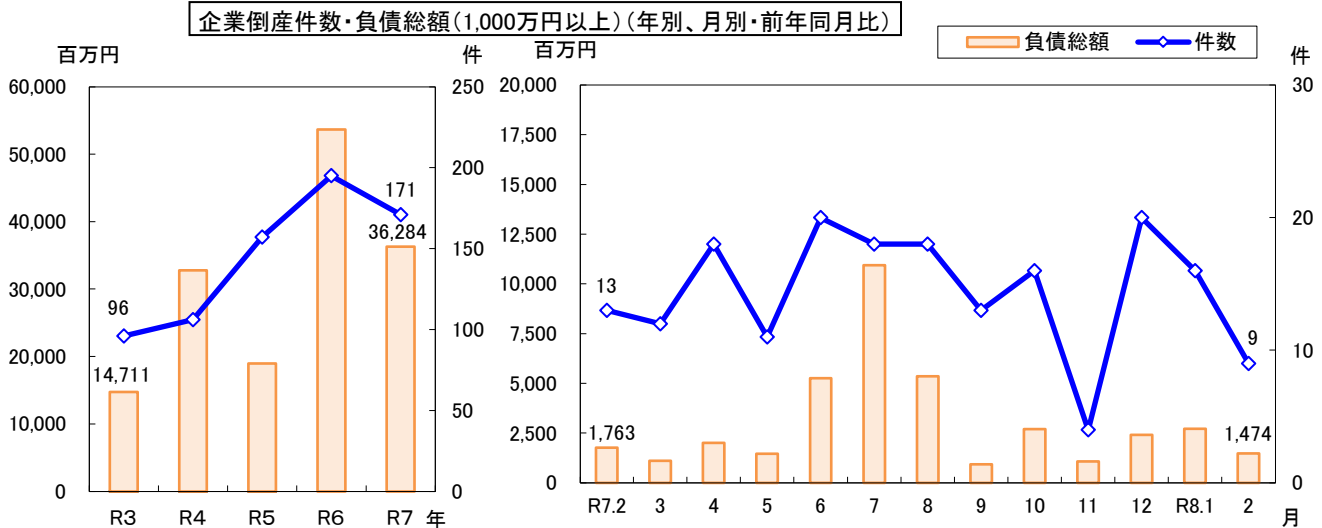
| 業種 | 12月の景況感 | 1月の景況感 | 変化の理由・状況   |
|----|---------|--------|--|
| 建設 | やや悪い    | 普通     | <p>カーテン・敷物・壁装クロスの3品目合計について、2月度の売上は前月比+21%、前年同月比+53%となった。ラベル全体の発行枚数も前年同月比で増加傾向にあり、物件数についてはカーテンが前月比+6%、敷物が+230%、壁装クロスが+9%となった。2月は全般的に好調で、特に敷物については在庫がなくなるほどの急激な需要増があった。年度末の工事需要によるものとみられ、今後は年度末工事の一巡により減少に転じると見込まれる。</p> <p><b>【広島県室内装飾事業協同組合】</b></p> |

## 4 企業倒産状況（令和8年2月）

### （1）概況

負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が9件、総額14億7,400万円であった。前月比では、件数が7件、負債総額は12億4,500万円、それぞれ減少した。前年同月比でも、件数が4件、負債総額が2億8,900万円、それぞれ減少した。大型倒産（負債総額10億円以上）は0件であった。

| 区 分             | 令和7年12月              | 令和8年1月                | 令和8年2月               |
|-----------------|----------------------|-----------------------|----------------------|
| 件 数<br>(前年同月比)  | 20件<br>(33.3%増)      | 16件<br>(100.0%増)      | 9件<br>(30.8%減)       |
| 負債総額<br>(前年同月比) | 2,403百万円<br>(26.5%増) | 2,719百万円<br>(109.8%増) | 1,474百万円<br>(16.4%減) |



### （2）業種別

件数は、建設業、製造業、卸・小売・飲食業が各3件となった。負債総額は、建設業、製造業、卸・小売・飲食業の順となった。

### （3）原因別

原因別では、販売不振が8件、既往のシワ寄せが1件であった。

### （4）今後の見通し

令和8年2月度の倒産件数は9件で、3年ぶりの10件割れとなった。負債総額は14億7,400万円で、3年連続で10億円を上回った。前年同月比では倒産件数、負債総額ともに減少する結果となった。

業歴別倒産状況では30年以上が6件となり、業歴10年以上の倒産が全体の100%を占め、前月1月度では業歴10年以上の倒産が全体の62.5%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が8件で最多となり、既往のシワ寄せは1件、売掛金等回収難は0件で、これらを合計した不況型倒産は9件で全体の100%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は2月度9件中発生は無く、これまでの累計は320件（負債総額1,000万円未満、弁護士一任・準備中を除く）で変動は無かった。ただ、代表者や前代表者の急逝を要因とした倒産が2件発生しており、後継者不在や高齢化が企業経営を行き詰られる要因となった。

倒産の内訳として、広島県内では企業の構成比としてサービス業他が多く、倒産件数としてもサービス業他の割合が高い傾向にあったが、ここ1年以内では建設業の倒産が増加傾向にある。2月度についても建設業が最多となった。建設業に於いては、円安や供給不足を背景とした物価高騰が続いており、工事需要が伸び悩む中、働き方改革に伴う工期の長期化や原材料、外注コストの負担が重くのしかかっている。

また、2月度の倒産件数は10件を下回っているが、法的倒産には至っていないものの、事業停止となった企業は複数散見されており、実質的な倒産件数は多数内包されている。

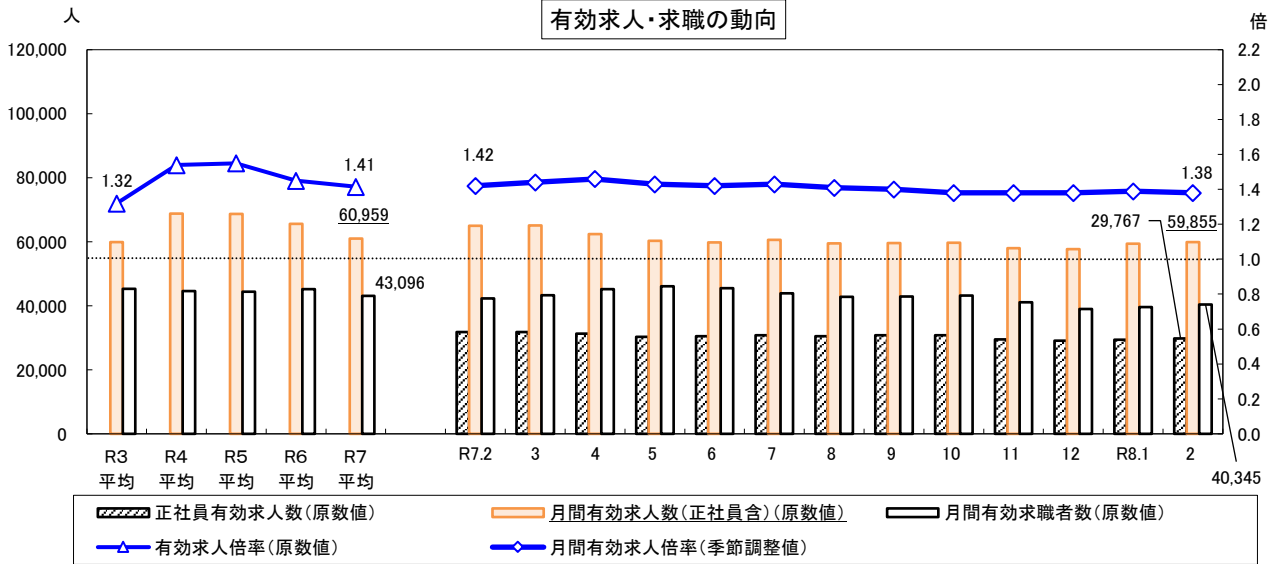
更に近年、国際的な紛争による原油コストや運搬コストの高まりが生じており、間接的に仕入商品への影響は避けられず、今後は更に負担が増えていくものと見られる。販売価格への転嫁も重要な要因であるが、そもそもの仕入ルートの見直しや供給体制の再構築などが今後の課題と言える。

## 5 最近の雇用失業情勢（令和8年2月）

### （1）県内の有効求人・求職の動向

| 区 分                    | 令和7年12月              | 令和8年1月               | 令和8年2月               |
|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 有効求人倍率〈季節調整値〉<br>（前月比） | 1.38倍<br>（±0.00ポイント） | 1.39倍<br>（+0.01ポイント） | 1.38倍<br>（▲0.01ポイント） |
| 正社員有効求人倍率<br>（前年同月比）   | 1.28倍<br>（▲0.02ポイント） | 1.26倍<br>（▲0.03ポイント） | 1.26倍<br>（▲0.05ポイント） |

【広島労働局】

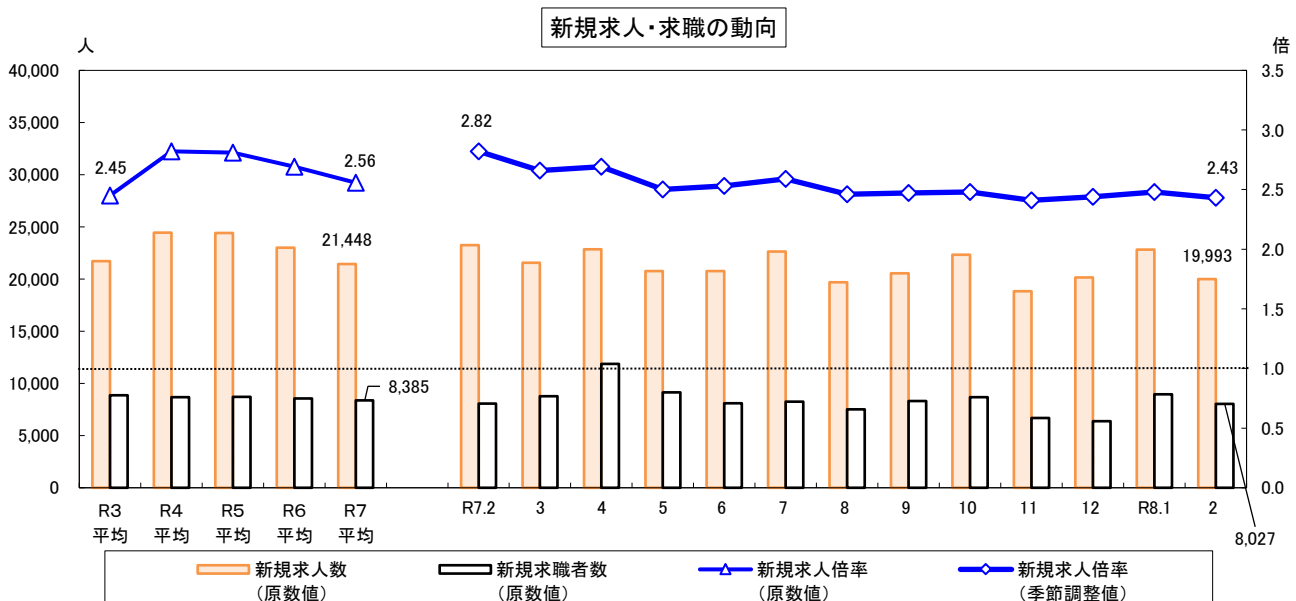


- （注1）正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人人数をパートタイムを除く常用有効求職者数（派遣労働者や契約社員を希望する者も含む）で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。  
 （注2）正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。  
 （注3）季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。

### （2）県内の新規求人・求職の動向

| 区 分                    | 令和7年12月              | 令和8年1月               | 令和8年2月               |
|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 新規求人倍率〈季節調整値〉<br>（前月比） | 2.44倍<br>（+0.03ポイント） | 2.48倍<br>（+0.04ポイント） | 2.43倍<br>（▲0.05ポイント） |

【広島労働局】

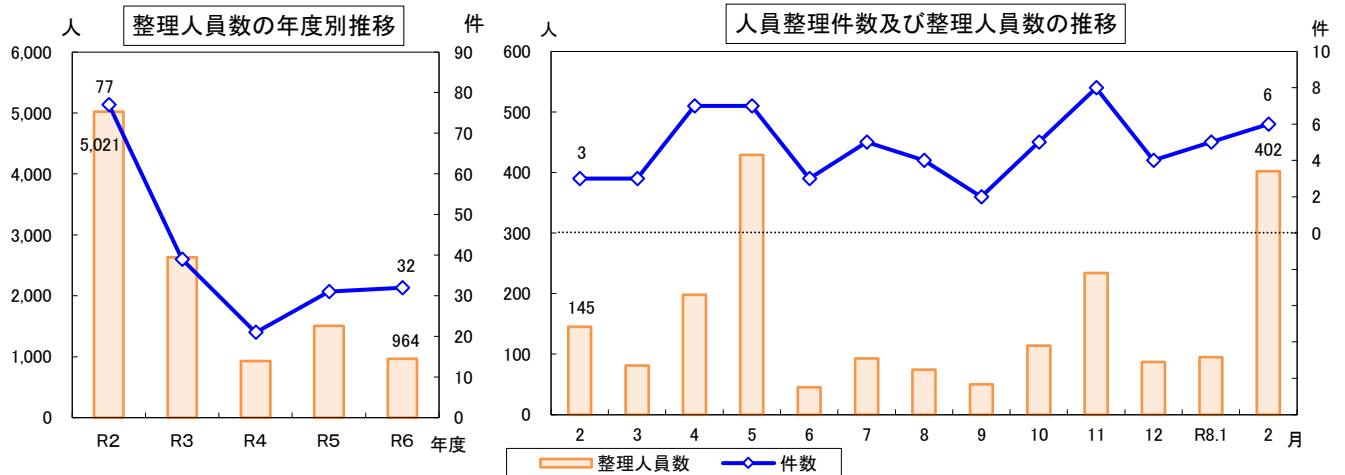


- （注）季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。

(3) 県内の人員整理の状況（整理人員10人以上）

| 区 分             | 令和7年12月       | 令和8年1月        | 令和8年2月          |
|-----------------|---------------|---------------|-----------------|
| 件数<br>(前年同月比)   | 4件<br>(±0件)   | 5件<br>(+3件)   | 6件<br>(+3件)     |
| 整理人員<br>(前年同月比) | 87人<br>(▲32人) | 95人<br>(+54人) | 402人<br>(+257人) |

【広島労働局】

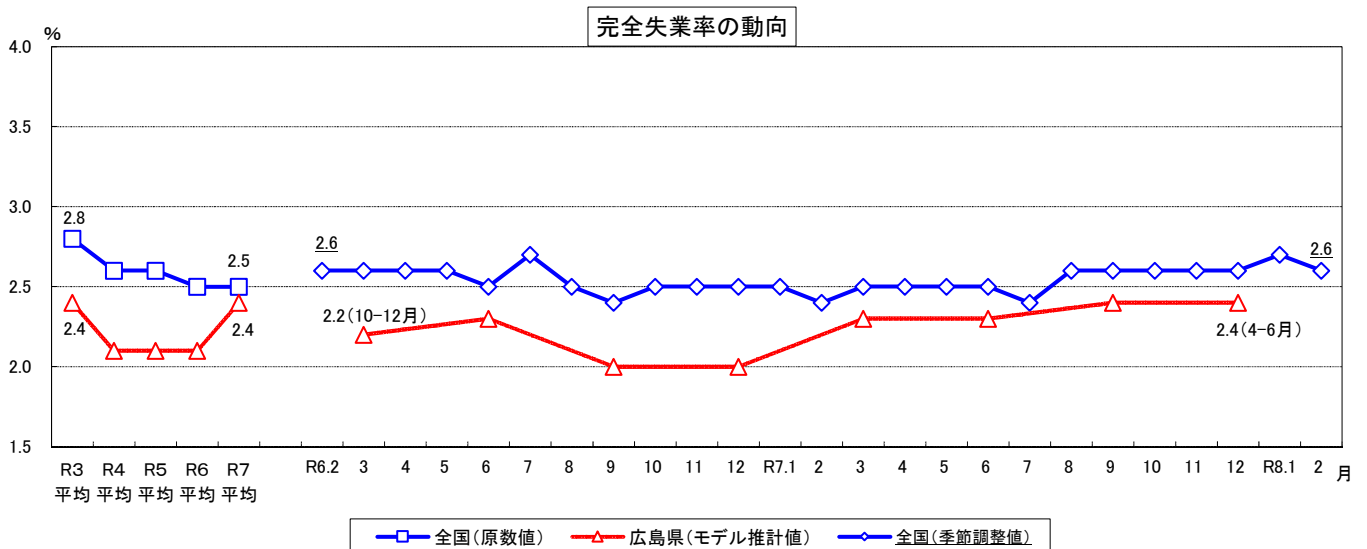


(4) 完全失業率の状況（全国・県内）

| 区 分                     | 令和7年12月            | 令和8年1月             | 令和8年2月             |
|-------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 全国完全失業者数<br>(前年同月比)     | 166万人<br>(+12万人)   | 179万人<br>(+16万人)   | 180万人<br>(+15万人)   |
| 全国完全失業率〈季節調整値〉<br>(前月比) | 2.6%<br>(±0.0ポイント) | 2.7%<br>(+0.1ポイント) | 2.6%<br>(▲0.1ポイント) |

| 区 分                             | 令和7年               |                    |                    |
|---------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
|                                 | 4～6月平均             | 7～9月平均             | 10～12月平均           |
| 広島県完全失業率<br>(モデル推計値)<br>(前年同期比) | 2.3%<br>(±0.0ポイント) | 2.4%<br>(+0.4ポイント) | 2.4%<br>(+0.4ポイント) |

【総務省統計局】



- ※ 全国完全失業率の季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。
- ※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去に遡って一部改定している。